

- 1 日時：2月20日 13:30～15:30
- 2 会場：今治地域地場産業振興センター
- 3 参加人数：17人
- 4 司会：今治市立宮窪小学校 教諭 池田昭二（事務局）

## 内容

説明会では

論文の受賞報告や書き方、財団より応募説明などの他、理科授業の実践報告、新教材紹介、四国電力より「エネルギーについて」の話、教育事務所より指導講話が行われた。

支部長あいさつ

愛媛大学教育学部附属小学校 副校長 正岡義憲

### 1 応募論文説明

#### (1) 受賞報告と論文紹介

「科学を築き、磨き、楽しむ子どもを育てる授業」

- 人間力 を高める指導 2009 -

努力賞 愛媛大学教育学部附属小学校

教諭 出山利昭

#### 【論文執筆の流れ】

めざす「科学が好きな子どもの姿」を描く。  
科学が好きな子どもを育てる構想を整理する。  
構想の実践を具体的に執筆する。  
実践を考察し、次年度の計画を立てる。

#### 【愛媛附属小の論文では】

めざす子どもの姿を描く。「科学を築き、磨き、楽しむ子ども」  
子どもの発達に沿った自然、友達、自分自身との関係づくりという構想を図に表す。  
日々の教育活動を記録する。  
前年度の研究課題から、今年度の研究の方向性を決定する。  
「子どもの目線、子どもの思考に寄り添った指導と評価の改善に取り組む。」  
人間力 を高めるための手だてを具体化し、指導と評価の充実を図る。  
実践を具体的に執筆する。（写真や子どものノートなども貼る。）  
構想と実践の対応を明確にする。  
実践の成果と課題について考察し、次年度の計画を立てる。



## (2) 財団より応募説明

ソニー教育財団 企画推進統括 内山秀敏 様

社会は、自ら道を切り開く人を求めている。「科学が好きな子ども像」を各校で定義し、自ら探究する子どもを育てていく。また、実感を伴う理解など、新学習指導要領の根本をどのように理解し、先導的な提案につなげるかを考える。なお、注意事項を必ず守ってほしい。



## 2 実践の紹介

### (1) 授業実践「フィリピンでの理科授業」

愛媛大学教育学部附属小学校 教諭 出山利昭

フィリピン大学附属小学校において、4年生の児童に英語で理科の授業を行った。米に含まれるデンプンが糖に変わる様子を調べたり、身近な食品のデンプンを調べたりする実験を行った。日本の理科の授業との違いや子どもの学習意欲の高さを感じることでできる意義深い体験であった。

### (2) 新教材開発「風力発電の教材開発」

今治市立乃万小学校 教諭 越智徳郎

ペットボトルで作った風力発電機を紹介。そよ風でも発電するモーター、消費電力の少ないLEDや電流の向きにより色が変わる赤青双極LEDなどを使った風車の活用について説明した。



## 3 四国電力の取組紹介

「エネルギーについて」

四国電力 白石 様 牧野 様

地球環境やエネルギーに関する冊子やワークシートを製作した。また、出前授業や伊方発電所見学会、エネルギー学習支援サイトなどの他、セミナーや地域の科学体験イベントへの参画など様々な活動を展開し、エネルギー教育を支援しているので、活用してほしい。



## 4 指導講話

東予教育事務所 教職員課長 渡邊和志

子どものために何かをしようという思いの会である。論文を書くことが大切で、その先には子どもの姿がある。

副支部長あいさつ

内子町立程内小学校 校長 越智 誠

書くことによって実践が見えてくる。子どもが見えてくる。つながりを大切にしていきたい。

